

運営推進会議開催状況報告書

事業所名（グループホームガーデンの家・小規模多機能センター緑井）

（自 平成 27 年 4 月 至 平成 28 年 3 月）

第 1 回		開催日時	平成 27 年 6 月 6 日（土）	10:00～11:20
参加者		主な議題		
利用者	0 名	・サカグループ活動報告		
利用者家族	0 名	・小規模多機能センター・グループホームの具体的なサービスについて		
事業者	5 名	・質疑応答		
（八敷福祉会）	0 名			
（松原福祉会）	1 名			
（梅林社協）	1 名			
（佐東北民生委員）	1 名			
（地域包括）	1 名			
その他	0 名			
主な要望・助言等		対応状況		
① 5 月度サカグループ活動報告		<p>① I 民生委員定例会についての報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームガーデンの家・小規模多機能センター緑井の事業説明を行った。 <p>II 緑井ガーデンハウスより 初夏のふれあい会についての報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 2 回地域に向けた行事を行っている。 ・ポップコーンや綿菓子のレンタルでの署名ありがとうございました。 ・安佐南警察署・ボランティアの演奏等・デイリーの協力・介護体験や体力測定等皆様の協力のおかげで成功することができた。 ・施設の入居者様や地域の方がたくさん参加して頂けた。 <p>III 小規模多機能センター緑井 グループホーム ガーデンの家より 内覧会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑井・八木からのご来場が特に多かった。 ・わかりやすい説明を心掛けた。 ・建物が完成するまでの様子を展示した。 ・入った様子がわかるように工夫したがまだ検討課題になっている。 ・今後地域に貢献していかないと感じました。 <p>アンケート集計結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般 104 名、介護事業所 31 名、医療関係 8 名、学校関係 1 名だった。 		

②小規模多機能とグループホームの具体的なサービスについて

- ・内覧会を知ったきっかけは新聞広告 36 名、回覧版 30 名、案内状 31 名
その他 10 名だった。
- ・スタッフの対応はほとんどよかったと言っていた。
- ・見学の感想
 - ・良かった点としてはベランダが広い・明るい・駅が近くでいい等があったが、トイレが居室にない・線路が近すぎる等の気になる点の意見も頂いた。
 - ・当施設に望むこととして、他施設との交流の場を持たせたい・運営している状況での見学がしたい・送迎エリアを広げてほしい等の声があった。

② I グループホームのサービス

①役割作り

- ・生活歴や生活習慣の中から役割を見つけて日常生活に取り組むことによって、人に認めってもらうことで自分の存在価値を認識できる。
- ・「ありがとう」という言葉を大切に取組んでいく。

②幸福感

- ・自分が行きたい居心地のいい場所・自分の遭いたい人のいる場所・自分を待っている人がいる場所がかみ合う事が幸福感に繋がっていく。
- ・ご本人・ご家族・他のご利用者の関わりを職員がサポートし、なじみの関係づくりを大切にしていく。

③社会資源の活用

- ・建物の中に閉じこもらず、目的を持った外出を行い、生き生きとした生活を過ごせるよう取り組む。
- ・生活歴等からなじみの場所に行き、大切にす。

④回想法

- ・昔を思い出して頂き、生活に生かしていく。
- ・昔の音楽や入居者様から出た言葉から行事の企画をしていく。

<p>③質疑応答について</p> <p>Q 1、グループホームは要支援 1 は入れないのか。</p> <p>Q 2、グループホームは認知症しか入れないのか。</p> <p>Q 3、小規模多機能センターは月の途中からの契約は料金はどうなるのか。</p> <p>Q 4、グループホームの通院はどうなるのか。</p> <p>Q 5、地域の人々の不安についてどこまで対応できるか。</p>	<p>II 小規模多機能センターのサービス</p> <p>①通い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所時に血圧測定・検温・健康相談を行う。 ・午前にリハビリ体操を行い、しっかり体を動かす。 ・昼スペースで気を抜ける空間を用意している。 ・創作活動や外出レクも考えている。 <p>②訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認・通院・介助を行う。 <p>③泊り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊りを利用することで家族の負担を減らす。 <p>④問い合わせが多い内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院後に身体能力の低下により、在宅の生活に限界を感じた。 ・入院中で退院後の生活が不安。 ・転倒などが多くなり、サービスを増やしたいが支給限度額では足りない。 ・家族が仕事で忙しい。 ・転倒による骨折が不安。 <p>③応答</p> <p>A 1、要支援 2 からしか入れない。</p> <p>A 2、医者から認知症の診断書が必要。</p> <p>A 3、月単位の請求になるため、日割りの料金にはならない。</p> <p>A 4、基本はご家族が付き添う。職員が連れて行くこともできる。 協力医療機関…サカ緑井病院、サカ歯科、 にいみ皮膚科、みぞべ眼科</p> <p>A 5、施設として何が出来るかを地域に発信していく。</p>
--	--